

令和2年4月1日現在の既存病床数について

【資料について】

○今回お示しする基準病床数と既存病床数を基に、既存病床数が基準病床数を下回る地域では、本年度第1回地域医療構想調整会議(地区保健医療福祉推進会議)において、その状況が病床整備に関する事前協議の対象とするに足るものか否かについて意見聴取することとなる。
○地域医療構想調整会議での意見聴取を踏まえ、本年9月下旬を予定している第2回神奈川県保健医療計画推進会議において、事前協議に関する協議を行うことから、令和2年4月1日現在の既存病床数等についてお知らせさせていただくもの。

1 療養病床及び一般病床

二次保健医療圏	基準病床数 A	既存病床数 B	差引 B-A
横浜	23,785	23,183	△ 602
川崎北部	3,796	4,331	535
川崎南部	4,189	4,776	587
相模原	6,545	6,522	△ 23
横須賀・三浦	5,307	5,249	△ 58
湘南東部	4,064	4,405	341
湘南西部	4,635	4,674	39
県央	5,361	5,347	△ 14
県西	2,809	3,138	329
合計	60,491	61,625	1,134

※ 既存病床数には、昨年度までの事前協議承認分、医療法第7条第3項の許可を要しない診療所として決定された分を含んでいます。

※ 現在、個々のデータを精査中のため、数値は変更の可能性があります。

2 精神病床

区域	基準病床数 A	既存病床数 B	差引 B-A
全県	11,317	13,831	2,514

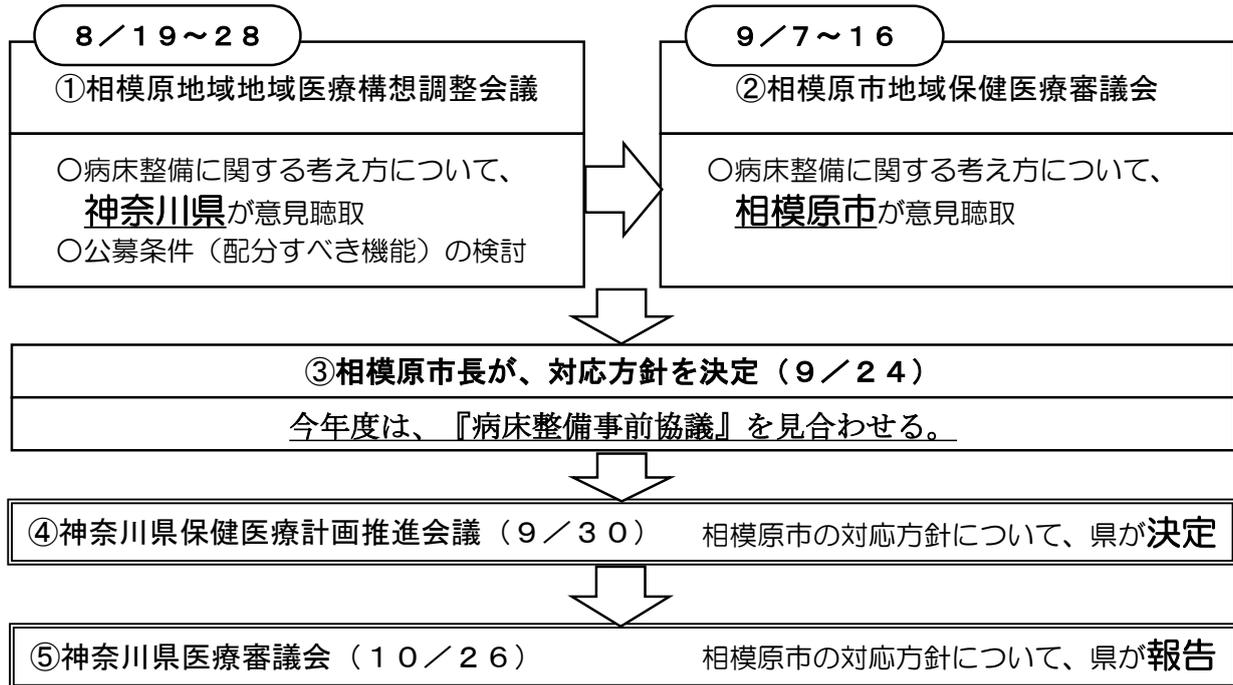
3 感染症病床

区域	基準病床数 A	既存病床数 B	差引 B-A
全県	74	74	0

4 結核病床

区域	基準病床数 A	既存病床数 B	差引 B-A
全県	129	166	37

令和2年度病床整備に係る協議結果について



①相模原地域地域医療構想調整会議（8/19～28）の結果について（概要）

病床整備事前協議実施の可否について、「今年度の事前協議を見合わせる」の意見が多数のため、「今年度の病床整備の事前協議は実施しない」として、とりまとめられた。

『病床整備事前協議』を行う。	今年度は、『病床整備事前協議』を見合わせる。
5票	11票
<ul style="list-style-type: none"> ○ 北里大学病院(旧東病院)のCOVID対応病床は、北里大学病院の許可病床数に入っているのでしょうか。一時的(COVID対応中止時)にでも、感染病床として増床(基準病床として)しなくて良いのでしょうか。 ○ 広い市内の中では、その中での地域の医療状況があるので、それを観る必要あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 23床と少なく、現状のまま経過をみる事で問題ないと思う。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策を最優先検討事項にした方がよい。 ○ 不足分の単なる数合わせでなく、将来の機能を見据えて有効な利用を希望。 ○ 現在の病床数でできる対応を行っているわけであるから、そこで問題があるならば検討すべきである。但し、現状と基準の差が23床であり、大きな問題とは考え難い。 ○ 病床数が少ないこと、公募条件についてしっかりした協議が必要と考えることから、次年度繰り越しで良いと思います。 ○ 平常開催に戻ってから、きちんと議論して公募すべき。 ○ 今年度に病床を減らす予定の病院もあることから、ある程度の規模で来年度にまとめて検討したほうが効果的ではないかと考えます。

②相模原市地域保健医療審議会の結果（9/7～16）について（概要）

病床整備事前協議実施の可否について、「今年度の事前協議を見合わせる」の意見が多数のため、「今年度の病床整備の事前協議は実施しない」として、とりまとめられた。

『病床整備事前協議』を行う。	今年度は、『病床整備事前協議』を見合わせる。
0票	20票